



日八十二月十
發行所 常新報社
小名濱町
電話 一四七

資生堂
小名濱町
電話 一四七

通信
氏は元學校前に土井醫院を
開業し應召された人

近事片々
日本帝國は世界一強國たる
事は全世界から隔りなく

土の公共團體に貢獻する處
頗る大きく地方民から感謝
されてゐるが、青森縣に

鯧揚操漁業快報來る

塩釜港鯧に埋もれて賑ふ

鯧揚操漁業のシーズンは秋潮に乗上げ大賑ぎとなつた
職である、舊九月一日秋潮が地元青年及び小名濱より
に乗換へて間もない今日、は多数歌助作業に出動した
鹽釜港は鯧に埋れる大漁で、爲め本日夕刻までには廻航
活況を呈してゐる、小名濱出れる模様で損害は輕微と
地方の漁業も全部鹽釜港を見られてゐる

平署の記念式

平署では二十八日午前八時
九、小野龍一氏の神風丸、
柳内儀助氏の共徳丸で何れ
も五千圓以上の漁獲で凱歌
を奏してゐるが漁獲が不
で不運の船はカラツキリ歌
目なのもある向である、鯧
群が小名濱近海に遊泳し沿
岸漁船を小名濱に引付け
のは早くも本月末であらう
と見られて、地方製造業家
はその準備に事目ない状態
である

平市婦人團の 遺族慰安會

平市各婦人団体では來月三
日午前十時から市内の戦死
者遺族を招き小學兒童の唱
歌、遊戯會等を催して慰問
する、當日は教育新聞社
作山美八氏の講演がある

平市中エックス會 展覽會

磐城中學第五十一回X會
展覽會は來月二十日から三
日間平市訓育院に開催
講習會、ガス發生作用木

福惠丸

小名濱町中島田中權次郎氏
所有機船底引福惠丸（二十
五トン）は出漁中の處昨二
十七日夕刻鯧川尻海岸の淺

解禁早々機船底更は豊漁

小名濱の水揚げは日歸り五千圓内外

十月一日の機船底更漁解禁日夜十時頃混雑して同町下
禁で小名濱町は十九隻の漁町地内道路に凝こころんで
船が一勢に出漁したが早くた所を志賀榮吉君の運轉す
豊漁に恵まれ、日歸りで水揚げ金五千圓突破の好漁で
仲には一袋で四、五百圓の
豊漁も珍らしくなく、濱は
漁期のシーズンで賑を呈し
大小鮮魚商は午後より魚市
場を埋め非常なる賑を呈し
てゐる

ハイヤーに 漢轢かる

小名濱古港小野龍太郎方漁
夫角田力雄（三）君は二十七

小野伍長 戦傷

小野伍長 赤井村不
好問村古河炭礦弓道部では
來る三十日午前九時半から
同村熊野神社で漢口落着記
の激戦で名譽の戦傷を負つ
た旨二十八日自宅に通知が
あつた
小野伍長は益太郎さん
三の長男で母親は數年前
死亡し六人の弟妹がある氏は平市公會堂建設費に一
會堂建築の基金とした外郷

三井榮一氏の義狭

平署武道場改築に寄附
萬圓也ボンと投げ出し同公
會堂建築の基金とした外郷

齒科一般 口腔外科



鈴木齒科医院

院長 鈴木 正
小名濱町中

登記所の代書は
明敏且つ懇切な
司法書士 金澤勉事務所
小名濱町登記所前

